高知工業高等専門学校	総合科学科	開講年度	令和02年度 (2020年度)
学科到達日標			

本校の創設以来の校是である「風格の高い人間・技術者の養成」を目標の第1に掲げ、高専の特色である早期一貫教育、実践的技術者教育という方針のもとに将来のエンジニアとしての基礎となる能力の修得を本科の主目標とし、それらを社会・地域のニーズに対応して応用・展開する能力や国際化に対応し得る能力の修得を専攻科の主目標として掲げています。

カヤ	刻国 <sup>図</sup>	祭化に対応し得る能力の修	得を専攻	料の王目	標として	掲	げて	いっ	ます。	0															1
						学	年別	週	当授	業時	詩数														
T.1.			THE TE	W//I 7=		14	年			2年				3年		4:	年			5£	Ę.			I	
科目分	区	授業科目	科目番 号	単位種 別	単位数	前		後	-	前	$\overline{}$	後	-	<del></del> 前	後	前		後		前		後		担当教員	履修上 の区分
ינכן			7	נימ																_	2	_		貝	ررحاره
						Ιģ	lô	0	4 Q	٥Ι	اة	3 4 Q (	ċΙ	1 2 Q Q	3 4 Q Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	ĺ	3 Q	Ŏ		
	ıλ			履修単				_					_				_		_		_	_			
般	必修	化学3(M)	0001	位	1									2											
		// · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		履修単			ī	1		1			ī		I_	T	ī	ī	ī		1	1			
般	必修	化学3(E, Z)	0002	位	1										2										
_	必	Ющ	0003	履修単	4		T				Т			1	1		T	I							
般	必修	倫理	0003	位 .	1	L								1	1		<u> </u>				_				
-	必修	国語III	0004	履修単	2		Τ	Г			П			2	2	Τ	Τ	Π		Τ		Τ			
般	修		0004	位														<u> </u>							
<u>—</u>	必修	保健・体育III	0005	履修単	2									2	2										
般		7113		位							=														
般	必修	英語表現	0006	履修単 位	1									1	1										
끼又																									
般	必修	英語III	0007	履修単 位	3									3	3										
/3X				履修単			1	1	<u> </u>	1			<u> </u>		1	1	1	i	ī	1	1				
般	必修	数学演習	8000	位	1									1	1										
_		/III-1= /\		履修単	_		T				Т	Т	ī	_	_	T	Т	ī		T		ī			
般	必修	微積分II	0009	履修単 位	3									3	3										
																								佐藤 元	
<u>фл</u>	必修	日本語表現	1412	履修単 位	1											1		1						紀,翁后	
般	修			111	_				<u> </u>			!_			I	1-		1-		-		!	!	佐藤 元紀,翁長志保子	
	λiν			履修単			_	_		_	_	_			1 1	1		1		_	_	_		佐々木	
般	必修	哲学	1422	位	1											1		1						正寿	
_		TIE   47	4.400	履修単			ī				1		1			Τ_				I				1	
般	必修	環境地理学	1428	位	1											2								池谷 江 理子	
																								市村 梨 乃,澤 本,新 忠 忠	
-	必修	保健・体育IV	1451	履修単 位	2		T				Т		Т			2		2		Т	Γ	T		乃,澤  ★ 章一	
般	修	体性 体自10	1431	位	2	<u> </u>										14		_						本早	
																								忠彦	
																								赤山幸	
般	必修	総合英語I	1477	履修単 位	2											2		2						本郎	
刀又	115			111																				太郎 ,野中 美賀子	
_	强	XL XV .		履修単			ī	1		ī	1		_			1_		ī	ī	1	1	1		菊池 直	
般	選択	法学A	1482	位	1											2								人	
_	選択	法学B	1483	履修単	1						П		T			T	T	2		T		T		菊池 直	
般	択	広子 D		位	1	L		<u> </u>		!			_			<u> </u>		_			<u> </u>	<u> </u>		人	
— —	選択	経済学	1484	履修単 位	1								Ţ			2								宮村 武志	
							<u> </u>	<u> </u>										_	_	<u> </u>	_	<u> </u>		心	
般	選択	心理学	1485	履修単 位	1						$_{-}$ $\Box$		T					2						佐々木 昌太郎	
							-										•		F						
般	選択	世界文化論	1488	履修単 位	1			<u></u>								2								佐々木 正寿	
		##=##=A	4.55		_		<del></del>			J		$\overline{}$				T	<del>-</del>	1_		<del></del>					
般	選択	英語特論	1490	履修単 位	1	L												2							
		中国語会話	1.401	履修単	1		1			1	-		Ţ			1			1					小谷 李 子	
般	選 択	中国語会話	1491	位	1	L	1	1								2									
<u>-</u>	選択	中国文化論	1492	履修単	1		T				П					Т	Τ	2		Τ		T		小谷 李 子	
般			1772	位		╚			ш							_		14		_	<u> </u>	<u> </u>			
фл.	必修	人間と科学技術	1523	履修単 位	2															2		2		佐々木 正寿	
般						E											<u> </u>	_	_	_		_			
般	必修	総合英語II	1577	履修単 位	2				$\lfloor \rfloor$		T									2		2		細川 伴 子	
אני <i>ו</i>															1	_		_	_					川村昌	
般	選択	数学特論	1593	履修単 位	1															2				川村 首   也	
		1° 201==	450-		_		T	Ι		J	J	Т	Т			T	T	Т	Т	Τ_		Ι_			
般	選択	ドイツ語	1597	履修単 位	2	Ŀ	<u> </u>	<u> </u>				L				<u>L</u>	<u></u>	<u>L</u>	<u> </u>	2		2		塩見 由 利	<u></u>

高知工業高等轉	門学校	開講年度	令和02年度 (2	020年度)	授業科目	日本語表現							
科目基礎情報													
科目番号	1412			科目区分	一般 / 必	一般 / 必修							
授業形態	講義			単位の種別と単位数	数 履修単位	: 1							
開設学科	総合科学科			対象学年	4	4							
開設期	通年			週時間数	1								
教科書/教材	教科書/教材 参考書:「スキルアップ!日本語力 大学生のための日本語練習帳」(東京書籍)、適宜補助プリント												
担当教員	佐藤 元紀,翁	長 志保子											
지수 다 #=													

## <u>|到達目標|</u>

- 1. 日本語文章の仕組みについて正確に理解し、説明できる
  2. 文章の形式に従って、場面に沿った適切な文章を日本語で構成することができる
  3. 場面にふさわしい言葉遣いや敬語を文章に用いることができる
  4. 自らの考えを客観的に捉え、論理的な文章を書くことができる
  5. 他者の文章を読み、適切に校正することができる

### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	形式をふまえた上で、豊かな表現 力を身につけて実用文を書くこと ができる。	形式に則って実用文を書くことができる。	形式に則って実用文を書くことが 十分にできていない。
評価項目2	場面にふさわしい言葉遣いや敬語 を使い、自らの考えを論理的かつ 十分に伝える文章を書くことがで きる。	場面にふさわしい言葉遣いや敬語 を使い、自らの考えを論理的に伝 える文章を書くことができる。	場面にふさわしい言葉遣いや敬語 を十分に用いることができず、自 らの考えを伝える論理的な文章を 書くことができない。
評価項目3	他者が記した文章を精読し、その 表現の誤りについて適切に校正す ることができる。	他者が記した文章を読み、 その表 現の誤りについて校正することが できる。	他者が記した文章を読み、 その表現の誤りについて校正することができない。

## 学科の到達目標項目との関係

#### JABEE (E)

# 教育方法等

概要	①日本語で効果的に書くために必要な技術を習得する。 ②構成を意識して文章を書き、それを互いに添削する取り組みを通して、日本語による適切な文章表現を身につける。 ③国語 I・国語 II・国語 IIで得た基礎知識・スキルを自ら発展させ,社会生活を営む上で必要な日本語表現力を養う。
授業の進め方・方法	①テキスト並びに補助プリントを使用して事前に自ら学習し、その内容をふまえて毎時演習形式にて授業を行う。 ②互いに添削を行い、学習者自らが文章表現上の問題点を発見し、自らの文章表現に反映することを目ざす。
注意点	【成績評価の基準・方法】 ①試験の成績を70%, 平素の学習状況等(演習問題への取り組みや提出物の状況を含む)を30%の割合で総合的に評価する。 ②技術者が身につけるべき専門基礎として,日本語表現力の修得の程度を評価する。 【事前・事後学習】 ①次回授業にて扱う箇所を自ら読み、練習問題を解いた上で授業に臨むこと。 ②試験では授業での既習範囲ならびにSPI試験の言語分野を中心に出題するため、各自で勉強を進めること。 【履修上の注意点】 授業は90分(隔週)にて実施する。

## 授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
		<u> </u>		
		1週	導入:授業の目標・年間予定についての説明 第0回 はじめに	授業の目的について理解する   日本語の適切さがどのように決まるのか説明すること   ができる
		2週		
		3週	第1回 敬語の種類と使い分け	敬語の種類を理解し、場面ごとに敬語を使い分けるこ とができる
	1stQ	4週		
		5週	第2回 注意すべき敬語	二重敬語、マニュアル敬語を正すことができる
		6週		
		7週	第3回 配慮を示す言葉	ポライトネスについて理解し、適切な言語行動ができる
前期		8週		
		9週	4回 品詞・活用の種類	品詞の種類や、動詞・形容詞の活用について説明する ことができる
		10週		
		11週	第5回 ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉	助動詞の使い方を理解し、誤りを正すことができる
		12週		
	2ndQ	13週	第6回 文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	主述の対応、副詞の呼応について説明することができ 、あいまい文を正すことができる
		14週		
		15週	第7回 接続語と指示語と文章	接続語や指示語について理解し、それらを効果的に使 用した文章を書くことができる
		16週		
		1週	第8回 類義語・対義語	類義語・対義語の使い分けについて説明することがで きる
後期	3rdQ	2週		
		3週	第9回 動詞の自他・視点	視点を置く場所により、伝えられる内容が変化することについて理解し、文章に反映することができる

		4週												
		5週		第10[	回 文体、	話	し言葉・書き言葉		文体に	ついて理解し、話し言 くことができる	葉を書き言葉	に改めて文		
		6週												
		7週		第11[	回 コロ <u>/</u>	ケー	ション		慣用的 用する	なことばの繋がりを理 ことができる	解し、文章内	Pで適切に使		
		8週												
		9週		第12[ 第13[	回 部首 回 仮名)	・音	訓・熟語 ・送り仮名		現代仮	切に漢字を使用することができる 代仮名遣いと送り仮名の付け方を理解して文章を書 ことができる				
		10រ៉	<b></b>											
		11认	<u> </u>	エントPRス	トリーシー ての作成技	シート・履歴書の作成 : 効果的な自己 成技術を身につける 履歴書の形式を確認し、効果 理解する					と的なPR文の作成技術を			
	1thQ	12վ	<b></b>											
		13认	問	エントPRス	レトリーシート・履歴書の作成: 効果的な自己 自ら履歴書を添削した上で、R文の作成技術を身につける					学生間で相互	位に履歴書を			
		14认	<u> </u>											
	15週 第14回 総合問題 既習の知識やス・ができる									、課題文を添	削すること			
		16ปั												
モデルコ	アカリキ			学習								1		
分類	I		分野		学習内容	<u> </u>	学習内容の到達目標	<u> </u>			到達レベル	授業週		
							常用漢字の音訓を正	Eしく使える。主	な常用淳	漢字が書ける。	3	前1,前3,前 5,前7,前 9,前11,前 13,前15,後 1,後3,後 1,後後,後 11,後 15		
							類義語・対義語を思		3	前1,前7,後 1,後3,後 9,後11,後 13,後15				
基礎的能力	人文・社 科学	会	国語		国語		社会生活で使われてきる。	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明で きる。						
							専門の分野に関する	用できる。	3	前1,後 11,後13,後 15				
							報告・論文を、整理 ように論理の構成や	型した情報を基に P展開を工夫し、	して、i 作成する	上張が効果的に伝わる ることができる。	3	前3,前5,前 7,前9,前 11,前13,前 15,後1,後 3,後5,後 7,後9,後 11,後13,後 15		
							新たな発想や他者の するための手法を実	新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。						
評価割合												前7,前 15,後11,後 13,後15		
		-	験			提出	出物	相互評価		事前学習	合計			
総合評価割る	<u></u>	70				10		10		10	100			
基礎的能力			50 10 10							10	80			
専門的能力 分野横断的	<u></u> 比力	10				0		0		0	10			
	にノノ	110	,			U		U		<u> </u>	110			

 高年	 □工業高等	専門学校	開講年度 令和02年度 (2	2020年度)	捋	業科目	 総合英語II			
		רו ונו <del>נדר</del>		<u> </u>	1 1×		心口入山江			
科目番号		1577		科目区分		一般 / 必修				
授業形態		講義		単位の種別と単位	立数	履修単位:				
開設学科		総合科	学科	対象学年		5				
開設期		通年		週時間数		2				
教科書/教	材		nts & Notions (Reading & Vocabulary	Development 2)	, publ	ished by Ce	enegage learning K.K.			
担当教員		細川 伴	子							
到達目	_	、 <b>当</b> 生の土	よの英語で書かれた 教科書を用いてて に		<b>ナ.白.</b> 二	つける tu :	- ᄩᆉᄺᅟᅑᄜᅟᄀᅷᅟᄱᅟᅀᄢ			
<sub>民語を母</sub> ミステリ	国語としなり 一、ビジネ)	ハ子生のに スなど幅広	めの英語で書かれた教科書を用いること く、一般知識を英語で読む楽しさを発見	によって、読解刀 <sup>,</sup> する。	を身に	フげる。扱:	D 題材は、発明、スポーツ、良料、			
ルーブ	リック									
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レイ	ベルのE	]安	未到達レベルの目安			
評価項目	1		辞書に頼らず、大体の内容が理解できる。	分からない単語な 、辞書を引きつて る。	がいくころ内容が	Oかあるが が理解でき	辞書を引いても内容が理解できない。			
評価項目	2		自分の意見や考えを英語で表現で きる。	間違いを恐れず、 や考えを英語で表	大体目	自分の意見	  自分の意見や考えを英語で表現で  きない。「			
評価項目	3		積極的に授業に参加する。	幾分積極性に欠り 加できる。	けるが、	授業に参	授業に参加する意思を全く見せない。			
 学科の	到達目標項	頁目との		•						
<u></u>										
<u> </u>		今まで	こ培った英語力を用いて、長文読解力を	 磨く。さらに、読む	むスピ・	ードのアップ				
		まずは	辞書に頼らず、全文を声に出して読む。	読みつつ、頭から	英文を	理解していく	く。そのあと、分からない単語ある			
授業の進	め方・方法	しいは、	構文を精査していく。 流れとしては、声に出して読み、分から							
		で、読	むスピードアップを図る。							
注意点		試験の調	成績76%、平素の学習状況等(課題等) 西の平均で求め、学年の評価は、全学期	24%の割合で総合	的に評	価する。学	期ごとの評価は、中間と期末の各類 到達日標に対する達成度は、 登略			
工恶無		等にお	いて評価する。	C1发于初0万十個0万-	T-17 C	9000/2	判定口信に対する定域反は、叫家			
受業計	画									
		週	授業内容		週ごと	の到達目標				
		1週	The Zipper		ジッパ たうえ	ーについて で、設問に	書かれた文章を読み、内容を理解し 正しく答えることができる。			
		2週	The Postage Stamp		切手に	ついて書か	れた文章を読み、内容を理解したう く答えることができる。			
		3週	Pencils and Pens				て書かれた文章を読み、内容を理解 に正しく答えることができる。			
	1stQ	4週	Th Umbrella		で、設	問に正しく	た文章を読み、内容を理解したうえ 答えることができる。			
		5週	The Metric System		単位に えで、	:ついて書か: 設問に正し	れた文章を読み、内容を理解したう く答えることができる。			
		6週	Word Study		今まで	学習した言語	葉を復習し、定着を図る。			
		7週	Thai Boxing				ついて書かれた文章を読み、内容を			
				i			設問に正しく答えることができる。 れた文章を読み、内容を理解したう			
前期		8週	Sumo Wrestling		えで、	設問に正し	く答えることができる。			
		9週	Tarahumara Foot Races		Tarah 、内容 できる		t Racesについて書かれた文章を読 うえで、設問に正しく答えることか			
		10週	Olympic Sports		オリン	ピック競技	について書かれた文章を読み、内容 、設問に正しく答えることができる			
	2540	11週	Great Athletes		Great 理解!	Athletesに				
	2ndQ	12週	Word Study				葉を復習し、定着を図る。			
		13週	The Puffer Fish		ふぐに	ついて書か	れた文章を読み、内容を理解したう			
					えで、	設問に正し	く答えることができる。			
		14週	今までの総復習(対面授業再開予定)		分まで	の総復習				
		15週	前期末試験 試験問題の復習		計除門	  題の復習				
		1週	武映问题(少接督) Foods from Around the World		世界の	食べ物につ	いて書かれた文章を読み、内容を5 問に正しく答えることができる。			
		2週	Chocolate		チョコ	レートにつ	<u>可に近しく合えることができる。</u> いて書かれた文章を読み、内容を理 問に正しく答えることができる。			
後期	3rdQ	3週	The Blue Revolution		The B	lue Revolut	<u> 同に正しく替えることができる。</u> tion について書かれた文章を読み、 えで、設問に正しく答えることがで			
		4週	Twenty-One Days Without Food		21日間の絶食について書かれた文章を読み、内容を 解したうえで、設問に正しく答えることができる。					
		5週	Word Study				葉を復習し、定着を図る。			

								The Marie Celeste	eについて	書かれた文章	 を読み、内				
		6週		The I	Marie Celeste	e 		The Marie Celeste 容を理解したうえて る。	で、設問に	正しく答える	ことができ				
		7週		The I	Roanoke Set	tlement		The Roanoke Set み、内容を理解した ができる。	tlementに こうえで、	ついて書かれ 設問に正しく	lた文章を読 、答えること				
		8週		The I	Easter Island	l Statues		The Easter Island み、内容を理解した ができる。	l Statues( こうえで、	こついて書か 設問に正しく	れた文章を読 〈答えること				
		9週		後学期	明中間試験			_, _ , _,							
		10认	<u></u>	The <sup>-</sup>	Tunguska Fir	reball		The Tunguska Fir 、内容を理解したできる。	eballにつ うえで、設	いて書かれた 問に正しく答	文草を読み 答えることが				
		<b>11</b> 认	<u> </u>	今まで	での総復習			今までの総復習		について書かれた女音な話					
•	4thQ	12过	<u> </u>	Myst	ery of the Mo	onarchs	Mystery of the Monarchsについて書かれた み、内容を理解したうえで、設問に正しく答 ができる。								
		13i	<u> </u>	Word	l Study			今まで学習した言葉							
		<b>14</b> 认	<u> </u>	The I	History of Mo	oney		お金の歴史についてしたうえで、設問に	こ正しく答	えることがて	<b>ざ</b> きる。				
		15认	<u> </u>	Doing	g Business A	round the World		ついて書か 役問に正し	れた文章を読 く答えること	iみ、内容を こができる。					
		16ปั		•	<b>卡試験</b>					5 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \					
	アカリキ			)学習	内容と到達	1				1	T				
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目は	•	ス甘木的かリブルや	ノントラ	到達レベル	授業週				
						ーション、音のつ	ながりに配慮して	る基本的なリズムや 、音読あるいは発話	できる。	3					
					英語運用の	明瞭で聞き手に伝え	りるような発話が <u>習得し</u> て適切に運	できるよう、英語の 用できる。	発音・ア 	3					
					基礎となる知識	中学で既習の語彙( 新出語彙、及び専り 切な運用ができる。	 の定着を図り、高 門教育に必要とな 。	等学校学習指導要領 る英語専門用語を習	に準じた  得して適	3					
						中学で既習の文法を た文法や文構造を	や文構造に加え、 翌得して適切に運	高等学校学習指導要 用できる。	領に準じ	3					
						日常生活や身近な	話題に関して、毎	分100語程度の速度 要な情報を聞きとる	ではっき ことがで	3					
										日常生活や身近な現を用いて英語で	話すことができる			3	
					英語運用能	説明や物語などの  ように音読ができ		程度の速度で聞き手	に伝わる	3					
					力の基礎固め	平易な英語で書か を読み取ることが		その概要を把握し必	要な情報	3					
						日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。			理し、 きる。	3					
						母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際のな面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略				3					
基礎的能力	人文・社 科学	t会	英語					なコミュニケーショ 適切に用いることが		3					
圣诞可能力	科学		火品			自分の専門分野なする報告や対話な握し、情報を聞き	どを毎分120語程	る内容や関心のある 度の速度で聞いて、 。	事柄に関 概要を把	3					
						英語でのディスカ 、教室内でのやり きる。	ッション(必要に応 取りや教室外での	びてディベート)を 日常的な質問や応答	想定してなどがで	3					
						英語でディスカッ: 学生自ら準備活動。	ション(必要に応じ や情報収集を行い	ンてディベート)を行 、主体的な態度で行	うため、 動できる	3					
						で英語で円滑なコ	ミュニケーション	とする姿勢をもち、 をとることができる	0	3					
					英語運用能力向上のた	関心のあるトピッ <sup>,</sup> イティングなど論	クについて、200 理的文章の構成に	語程度の文章をパラ 留意して書くことが	グラフラ できる。	3					
					めの学習		頭発表や、内容に	野のプレゼン等にも 関する簡単な質問や		3					
						関心のあるトピック などの概要を把握	クや自分の専門分 し、必要な情報を	野に関する論文やマ 読み取ることができ	゚ニュアル ゔ。	3					
					:	や口頭発表用の資	料等の作成にもつ	る論文の英文アブス ながるよう、英文テ や表現を使って書く	クニカル	3					
						きる。 実際の場面や目的! (ジェスチャー、ア 切に用いることが	'イコンタクト、イ	なコミュニケーショ 対用表現、聞き返した	ン方略 よど)を適	3					
評価割合					•						•				
<b>₩</b> Δ=π/π+**	試			発:		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計					
総合評価割	合 76			24	•	0	0	0	0	100	)				

基礎的能力	76	24	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0